



ドッグランキャンプ！



キャンプサイトの中を疾走するムスコ、ツキ、ロク

例年この時期は「まだまだ残暑が厳しいですね～」なんて話になりますが、今年は一転、9月に入って雨の日が多く過ごしやすいい日が続いています。朝のワンコの散歩もだいふらくになってきました♪このまま暑さがふり返す事無く涼しくなっていくことを願うばかりです。さて今回は前回ご紹介しました2匹目の保護犬“ロク”と先住犬のツキを連れてのキャンプのお話です。我が家の車は古いボルボのセダンタイプ。エアコンがほとんど効かず、家族4人と犬2匹で遠出は厳しいので前回（ベルズレターVol.34参照）同様、今回もキャンピングカーをレンタルして出かけました。行先は八ヶ岳にあるドッグランキャンプ場。大小様々な形のキャンプサイトがあり、そのすべてが柵で囲われていて犬の放し飼いOK。今回はそのキャンプ場の中でも一番広いサイトを予約しました。敷地の一番端っこに位置し、他サイトと隣接していない為、八ヶ岳の大自然を独り占め！キャンプサイトの面積は1200㎡！ちょっとピンと来ないかもしれませんが、テニスコート（シングルス）がまるまる6個入る大きさで、ちょっとした公園です。（笑）そんな広大な敷地に車を乗り入れ

チェックイン！車の扉を開けて2匹のワンコが飛び出します。一目散に走り出すのかと思いきや、「あれっ！？、リードに繋がれてませんけど・・・」と拍子抜けした様子で二匹ともオロオロと車の前でまわりの様子をうかがいます。そのうち慣れてきたのか、じゃれ合いながら敷地の中を少しづつ走り回るようになりました。しばらくするとフルスロットルで追っかけっこが始まりました！2匹とも普段見た事も無いような生き生きとした表情でタッタカッタカと馬のように走りまわります！ロクはツキよりも身体が小さく脚も短いのですが、その短足を活かした見事なコーナーリングで年上のツキにくらいついていきます。かたやツキは筋肉質で脚も長いのですが、たまに地面のくぼみに足をとられて転倒。「えっ！？元野犬が転ぶ！？」と思わず吹き出してしまう場面も。（笑）そんなこんなでワンコたちも普段の生活では味わえない大自然を満喫した様子でした。そんな様子を写真におさめようとしたのですが、敷地が広すぎるのと、スマホのカメラでは豆粒ほどにしか写らず、気の利いた写真をお見せ出来ないのが唯一心残りです・・・（涙）。



まさに「大自然の森の中」といったキャンプサイト



時間が止まる標高1,200mの青空

ワンコを横目に椅子に腰かけ、ふと空を見上げると「ん～雲が近くて空が青い！」考えてみればここは標高1,200m。ワンコはもちろん、人間も大自然を満喫です！日が落ち始めた頃から焚火台をセットしてキャンプファイヤー！事前にリフォーム現場で余った木の端材をストックしておいたので薪を気にせず、就寝前まで燃やし続けました。一泊二日の弾丸ツアーでしたが、つかの間の「非日常」にワンコも人間も大満足！翌日、ツキもロクも一日中ソファでぐったりでした（笑）。



BBQ 定番の焼きマッシュマロ

杉板の外壁ってどうなの？



写真は事務所前の外壁の様子です。1階がモルタル仕上げで2階が杉板を貼っています。それも無塗装で。左は新築直後でほんのりと杉板の赤身が分かりますが、2年経って赤身も無くなりうっすらとシルバークレーに変色していますね。これは木材に含まれている変色物質が水に溶けやすく、雨

などによって流されてしまうために脱色されたように変色していくからです。これが5年、10年とさらに月日が経つにつれ、より味わい深い色へと変化してきます。経年劣化ではなく“経年美化”として素材の変化を住まいながら楽しむ事が出来るんですね。前置きが長くなりましたが、ここではそんな杉板の外壁についてお話しします。木の外壁というと、「え～大丈夫？」、「耐久性悪いんじゃない？」、「腐るんじゃないの？」など不安な声をよく耳にします。確かに木はいつかは腐るし、腐ったら当然メンテが必要になってきますが、ほとんどの住宅で使われているサイディング系の外壁材と比較するとはるかに長持ちし、高耐久なんです。「じゃあどれくらい持つの？」という事になりますが、2～30年ノーメンテでもへっちゃらです。世界最古の木造建築“法隆寺”が分かりやすいですが、適切な管理が出来ていれば木は何百年も持ちます。因みに法隆寺は1300年！適切な管理とは乾燥状態を保つことです。乾いた木材は腐らない、単純です。それには軒を深く出して外壁が雨に濡れないようにしたり、濡れてもすぐに乾く施工（通気工法→ベルズレターVol.28参照）をするなど工夫が必要です。万が一腐ったり、割れたりして交換が必要になったとしても、杉板は部分的な貼り替えが可能です。サイディング系の外壁は部分的な貼り替えが難しく、仮に交換が可能だとしても材料自体数年で廃盤になってしまう事も。その点杉は廃盤の心配がありません。日本中どこでも手に入ります。



いかがでしたでしょうか。杉板は耐久性だけでなく、メンテナンス性も優れている事が分かりましたね。さて左の写真は築40年以上の杉板を貼った木造住宅です。地元湘南のハウズビルダー“技拓”さんが手掛けたお家で、建ってから30年以上ノーメンテで過ごされてきたとの事です。経年による劣化どころか、風格さえ感じる素敵な佇まいですね。このお宅と比べたら我が家はまだまだひよっこ（笑）。今回は杉板の耐久性・メンテナンス性をサイディングと比較しながらお話ししましたが、機会がありましたらコスト面からも比較検討してみたいと思います。

ファミリーで楽しめる！箱根彫刻の森美術館



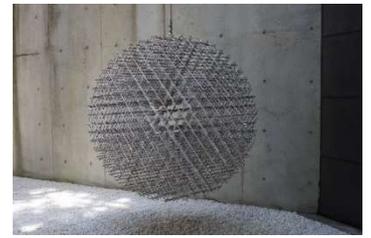
こんにちは、三宅です。この夏、家族で箱根彫刻の森美術館に行ってきました。生まれてこのかた何度も箱根を訪れており、彫刻の森がMy森だと言っても過言ではない私ですが、この旅行で改めて良いところだなーと再認しました。2019年にピカソ館ができた本美術館、最後に行ったのがもう15年以上前で、当時とはだいぶ様変わりしていました。今回は個人的に面白かったところをピックアップしてご紹介いたします。

○幾何学大好きさんのための彫刻

『フランソワ・モルレ作 “網目の球体”』

エントランスを抜けてエスカレーターを下り、まず迎えてくれたのが本作品でした。ステンレス棒を溶接し組み合わせた作品。シンプルな幾何学、図形×図形＝図形のような作品です。きっと幾何学大好きな私のために美術館が用意してくれたのでしょう。

右の写真は別の場所に展示されたものですが、配置される場所によって雰囲気が変わるのがわかりますか？ 自然の中では彫刻のある場所だけがデジタル空間のように見えます。展示場所で印象が変わるところがこの作品の魅力ですね。



○ポップでかわいい新休憩エリア

『体験型アート作品① “ポケット。”』

カラフルな作品が並んでいる芝生のエリア、今年の4月に出来たばかりのエリアです。作品を椅子として休憩に利用したり、アスレチックとして利用できるエリア、日常にアートを溶け込ませたスペースです。ここは写真の撮り方次第でかなりSNS映えますね。写真を撮る人がたくさんいました。



○ここに着いたが最後、子どもたちは止まりません

『体験型アート作品② “ネットの森”』

2017年に出来た作品です。ふじようちえんで有名な手塚貴晴 + 手塚由比の両氏による建築と、造形作家の堀内紀子氏によるネットで出来たアスレチックです。気を付けてください、ここに入った子どもたちは誘われるようにネットに吸い込まれ、汗だくになるまで出てきません。私もあやうく吸い込まれそうになりましたが、年齢制限により入れませんでした。

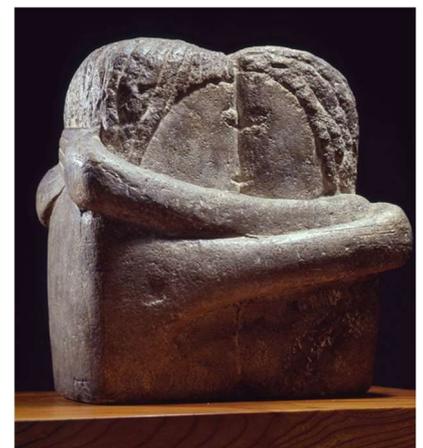


○結局ブランクーシ

最後にひとつ作品を紹介します。はいこちら、出ましたブランクーシ。やっぱりブランクーシ、何を書かせても最後にはブランクーシ。写真も気持ち大きめです。

こちらの作品はコンスタンティン・ブランクーシ作『接吻』です。前回ご紹介した『空間の鳥』と違い、アフリカ彫刻の影響が色濃く出た初期作品です。愛が深すぎてキスする顔がめり込んでいますね。大胆すぎる感情表現。ふたりでひとつになって、相手しか見えていない、むしろ相手さえ見えていない。2つの意味での盲目さを感じます。

※彫刻の森の屋内展示は写真を撮れないので、ホームページから引用しました。



○まとめ

前回のベルズレターで「最近美術館行ってないなあ」と書きましたが、その直後には無意識に夏の予定を立てていました。彫刻の森～ガラスの森と2箇所廻り、子どもたちにはとんぼ玉作り体験などさせてあげられたのでとても満足いく旅行でした。しかし、どうしてもブランクーシ作品があるとそれについて語りたくなってしまいます…。

Bells Kitchen

朝晩だいぶ涼しくなりましたね。30度超えの気温とジメジメの気候から解放されて身体が「楽だー!」とホッとしているのを感じる今日この頃。今年の夏も暑かった…さて今回は1990年に一大ブームを巻き起こした懐かしの「ティラミス」をご紹介します。材料をそろえて混ぜるだけ!簡単で食後のデザートにぴったり!!皆様是非お試しください!

ティラミス(19.5cm×9cm×高さ6cmのパウンド型1台分)

《クリーム》

- ・マスカルポーネチーズ 200g
- ・グラニュー糖 50g
- ・生クリーム 200ml

《コーヒーシロップ》

- ・インスタントコーヒー15g
- ・グラニュー糖 45g
- ・熱湯 225cc

- ・スポンジ生地(市販の5号)1枚
※半分に切り2枚にしておく
- ・ココアパウダー(無糖)適量



こちらが材料です!



コーヒーシロップの材料を入れ、よく溶かして粗熱を取っておく。



ボウルにマスカルポーネチーズとグラニュー糖を入れる。



グラニュー糖が溶けて滑らかになるまでよく混ぜる。



別のボウルに生クリームを入れよく混ぜる。



こんな感じでしっかりとツノが立つまで泡立てる。



泡立った生クリームとマスカルポーネチーズをよく混ぜる。



容器にスポンジ生地1枚分をちぎって敷き詰める。



コーヒーシロップ半量をしみこませる。



その上にクリーム半量をのせてならす。



さらにその上にもう1枚のスポンジ生地を敷き詰める。



残りのコーヒーシロップ半量をしみこませる。



残りのクリーム半量をならして、冷蔵庫で3時間以上冷やし固める。



食べる直前に茶こしでココアパウダーをふりかけ完成!



断面はこんな感じ!

編集後記

今回ご紹介しましたベルズキッチンでティラミスですが、実は自分の50回目の誕生日に娘がサプライズで作ってくれたものです。かなり本格的な味にびっくりしてご紹介する事になりました。本当においしいですので是非とも試してみてください! さて冒頭でもお話しましたが、今年の夏は思いのほか雨が多く、涼しくなるのが早いような気がします。こうなると思い浮かべるのが「食欲の秋」。こう呼ばれる理由は諸説あり、「美味しい食材が多い季節だから」という理由だけではありません。暑い夏を乗り越えて、パテた体を元に戻そうとする働きの高まりや、気温が下がってくると、体を温めたり、冬に向けて体力を温存しようとして、自然に食欲が増すのもこの季節ならではの体の反応と言われています。”食欲が増す”のは自分の体からのメッセージなんですね。ちょっと都合のいいように聞こえますが(笑)。最近は波乗りの頻度も減って、お腹が気になるようになりまして、これからの季節、何とか乗り越えたいと思います。それでは次回は12月発行予定です!

